

実習関連参考文献(2010年度版)

3. 障害者福祉

<障害者福祉論>

- ・定藤丈弘、佐藤久夫、北野誠一編『現代の障害者福祉』有斐閣、1996年、369/00011/5
- ・石川准、長瀬修『障害学への招待』明石書店、1999年
- ・佐藤久夫、小澤温著『障害者福祉の世界』有斐閣、2006年、369.2/Sa85s/2006
- ・小澤温、北野誠一編著『社会福祉士養成テキストブック 障害者福祉論』ミネルヴァ書房、2007年、369.2/097s
- ・『新社会福祉士養成講座第14巻 障害者に対する支援と障害者自立支援制度—障害者福祉論』中央法規出版、2009年
- ・『社会福祉学習双書第3巻 障害者福祉論』全国社会福祉協議会、2009年

<援助論・援助実践>

- ・田中英樹『精神障害者の地域生活支援—統合的生活モデルとコミュニティーソーシャルワーカー』中央法規、2001年、369.2/ta84s/2001
- ・大島巖、奥野英子、中野敏子編『障害者福祉とソーシャルワーク』有斐閣、2001年、369/Sh12y
- ・住友雄資『精神科ソーシャルワーク』中央法規、2001年、369.2/Su66s
- ・高橋幸三郎『知的障害をもつ人の地域生活支援ハンドブック—あなたとわたしが共に生きる関係作り—』ミネルヴァ書房、2002年、369.2/Ta33c/2002
- ・杉本敏夫監修／津田耕一、植戸貴美子編著『障害者とソーシャルワーク』久美株式会社、2002年
- ・全国身体障害者施設協議会編『〈支援費制度対応〉改訂施設のケアプラン—身体障害者療護施設の個別生活支援計画をもとに—』全国社会福祉協議会、2003年、369.2/z3s
- ・石神文子、遠塚谷富美子、眞野元四郎編著『精神障害者福祉の実践—当事者主体の視点から—』ミネルヴァ書房、2005年、369.2/I73s
- ・谷口明広『障害をもつ人たちの自立生活とケアマネジメント』ミネルヴァ書房、2005年
- ・チャールズ・A. ラップ、リチャード・J. ゴスチャ『ストレングスモデル—精神障害者のためのケースマネジメント』金剛出版、2008年
- ・向谷地 生良『統合失調症を持つ人への援助論—人とのつながりを戻すために』金剛出版、2008年
- ・奥野英子『聴覚障害児・者支援の基本と実践』中央法規出版、2008年
- ・春日武彦著『病んだ家族、散乱した室内—援助者にとっての不全感と困惑について—』医学書院、2001年、493.7/Ka79y
- ・浦河べてるの家『べてるの家の非援助論—そのままがいいと思えるための25章—』医学書院、2002年、369.2/B39b
- ・斉藤道雄著『悩む力—べてるの家の人々—』みすず書房、2002年、369.2/Sa25n
- ・カイパ編著『ぼくらの発達障害者支援法』ぶどう社、2005年
- ・マーク・レーガン著／前田ケイ監訳『リカバリーへの道—精神の病から立ち直ることを支援する—』金剛出版、2005年
- ・寺谷 隆子『精神障害者の相互支援システムの展開—あたたかいまちづくり・心の樹「JHC板橋」』中央法規出版、2008年
- ・向谷地 生良 辻 信一『ゆるゆるスローなべてるの家—ぬけます、おります、なまけます(ゆっくりノートブック)』大月書店、2009年

<教育>

- ・高山佳子『個別教育計画のためのはじめての特別なニーズ教育』川島書店、2000年、378/Ta56k
- ・杉山登志郎、原仁『特別支援教育のための精神・神経医学』学習研究社、2003年、493.9/Su49t
- ・藤原加奈江『あなたが育てる自閉症のことば 2歳からはじめる自閉症児の言語訓練—子どもの世界マップから生まれる伝え方の工夫』診断と治療社、2005
- ・茂木俊彦『障害児教育を考える』岩波新書、2007年
- ・井上雅彦『家庭で無理なく楽しくできる生活・学習課題 46—自閉症の子どものためのABA(応用行動分析)基本プログラム』学習研究社、2008年

<障害のある人や慢性病の人とその家族に関係ある本>

- ・萩原葉子『誰が悪いのでもない—明子(アキコ)は何処へ』海竜社、1986年
- ・全国障害者とともに歩む兄弟姉妹の会東京支部『きょうだいは親にはなれない…けれど—とともに生きる Part2』ぶどう社、1996年
- ・『やさしさの距離—精神障害とつきあうきょうだいと私たち』萌文社、1998年
- ・乙武洋匡『五体不満足』講談社、1998年
- ・島田律子『私はもう逃げない—自閉症の弟から教えられたこと』講談社、2001年
- ・『精神障害のきょうだいがいます』心願社、2005年
- ・土屋葉『障害者家族を生きる』勁草書房、2002年
- ・「10万人のためのグループホームを！」実行委員会編『もう施設には帰らない—知的障害のある21人の声—』中央法規出版、2002年、369.2/J94m/1.2
- ・佐野卓志、三好典彦著『こころの病を生きる—統合失調症患者と精神科医師の往復書簡—』中央法規出版、2005年、493.7/Sa66k
- ・藤原里佐『重度障害児家族の生活』明石書店、2006年
- ・岡田稔久、中根やすひろ、大塚晃、辻川圭乃、野沢和弘『親～障害の子のいる幸せ・かなしみ』Sプランニング、2007年
- ・吉川かおり『発達障害のあるこどものきょうだいたち—大人へのステップと支援』生活書院 2008年
- ・ポール・カラシク、ジュディ・カラシク『自閉症の兄とともに—きょうだいと家族の50年の物語』かもがわ出版、2008年
- ・やおき福祉会『精神障害とともに働く—自立への挑戦』ミネルヴァ書房 2009年

<人権>

- ・荒川智、越野和之『障害者の人権と発達』全障研出版部、2007年
- ・東俊裕『障害者の権利条約でこう変わるQ&A』解放出版社、2007年
- ・茂木俊彦、近藤直子、白石正久、中村尚子、池添素『子どもの権利と障害者自立支援法』全障研出版部、2007年
- ・野沢和弘『条例のある街—障害のある人もない人も暮らしやすい時代に』ぶどう社、2007年
- ・講座『障害をもつ人の人権』1～3、有斐閣
 - 1『権利保障のシステム』
 - 2『社会参加と機会の保障』
 - 3『福祉サービスと自立支援』

<福祉工学>

- ・伊福部達『福祉工学の挑戦—身体機能を支援する科学とビジネス』中公新書、2004年、080/C64c/1776

<生活ガイドブック>

- ・斎藤佐和『聴覚障害学生サポートガイドブック』日本医療企画、2002年
- ・鳥山由子『視覚障害学生サポートガイドブック』日本医療企画、2005年
- ・障害者生活支援システム研究会『障害者自立支援法と人間らしく生きる権利』かもがわ出版、2007年

<発達障害>

- ・武蔵 博文・高畑 庄蔵『発達障害のある子とお母さん・先生のための思いっきり支援ツール—ポジティブにいこう!』エンパワメント研究所、2006年
- ・海津敦子『発達に遅れのある子の親になる②』日本評論社、2007年
- ・ミネルヴァ書房の〈発達と障害を考える本〉シリーズ（全12冊）中、特に以下が入門として推薦（全シリーズ購入も推薦）
 - 玉井邦夫監修『ダウン症のおともだち』5.
 - 原仁監修『知的障害のおともだち』6.
 - 日原信彦監修『身体障害のおともだち』7.

<自閉症>

- ・佐々木 正美『自閉症のすべてがわかる本』講談社、2006年
- ・藤岡 宏『自閉症の特性理解と支援—TEACCHに学びながら』ぶどう社 2007年
- ・篁 一誠（著）編『自閉症の人の人間力を育てる』：東京都自閉症協会、ぶどう社 2009年

<精神障害>

- ・本間 博彰、小野 善郎、齊藤 万比古『子ども虐待と関連する精神障害（子どもの心の診療シリーズ 5）』中山書店、2008年
- ・松本英夫・飯田順三『子どもの精神病性障害—統合失調症と双極性障害を中心に（子どもの心の診療シリーズ 8）』中山書店、2009年
- ・加藤忠史『双極性障害—躁うつ病への対処と治療』ちくま新書、2009年

<聴覚障害>

- ・河崎佳子『きこえない子の心・ことば・家族—聴覚障害者カウンセリングの現場から』明石書店、2004年
- ・山口利勝『中途失聴者と難聴者の世界—見かけは健常者、気づかれない障害者』一橋出版、2003年

<その他>

- ・安積純子、岡原正幸、尾中文哉、立岩真也『生の技法』藤原出版、1990年
- ・中島 隆信『障害者の経済学』東洋経済、2006年